特定非営利活動法人　会　員　誌

ふれあいサポート館アトリエ

⇒E-mail　fureainpo@gmail.com
⇒ホームページ
http://www.fureai-support.jp/

4･5月号
平成３１年４月１９日

■法人事務所・アトリエ　TEL 0244(36)5420
〒976-0042 相馬市中村字北町１－８　FAX 0244(26)5424
●デイサービス友遊(北　町)　TEL 0244(26)5424
●デイサービス友遊(南飯渕)　TEL 0244(36)3582
●中央児童センター(ポニー・ことり)　TEL 0244(35)2008
●飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり)　TEL 0244(37)8870
●日立木小放課後児童クラブ(めだか)　TEL 0244(35)3400
●磯部小放課後児童クラブ(げんき)　TEL 0244(32)1787
●八幡小放課後児童クラブ(なのはな)　TEL 0244(26)9011
●相馬こどものみんなの家　TEL 0244(35)4700

平成３１年度、ふれあいサポート館アトリエの活動がスタートしました。
創立より半世紀のうえ、多くの皆様のご理解とご協力をいただきながら子ども達の情操教育に携わり、心新たに５４年目を迎えました。
アトリエはじめ中央児童センター・桜ヶ丘小・飯豐小・日立木小・磯部小・八幡小の放課後児童クラブも加わり
子ども達が、デイサービスの皆さんと異世代交流をしながらお互いの能力を活かしあい
どの世代もイキイキ　キラキラ　みんないい笑顔で過ごせる居場所作りをデザインしていかなければと思います。
大震災から８年が過ぎ、復旧、復興が進んでいる光景を目にしてもまだ不安は残ります。
今年度も、アートの持つ力で、健全な心の育成に取り組んでいきたいと・・・新学期の仕事に入りました。
スタッフ一同心新たにして活動に取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いします。

NPO 法人　ふれあいサポート館アトリエ　紹介

理事長　倉本信之　**副理事長**　門馬浩之　**顧問・理事**　渡辺雄彦(宮城教育大学名誉教授)

委　託　管　理　事

・相馬市中央児童センター

館　長　倉本信之

館長代理　門馬浩之・倉本まり子

主任　門馬美樹　**相談員**　倉本正子

・ことりクラブ・ポニークラブ
星見旬子・菊池奈津美・岡田美佳
佐藤光江・佐々木寛子・清水直子

・おやこきょうしつ　佐藤亜里沙

・もりっこサポート　門馬美樹・森　菜々

・飯豊小放課後児童クラブ（ひまわりクラブ）
佐藤桃子・三村未来・幾世橋典子

・日立木小放課後児童クラブ（めだかクラブ）
鈴木たみ子・林田千明

・磯部小放課後児童クラブ（げんきクラブ）
立谷良栄・鈴木三恵子

・八幡小放課後児童クラブ（なのはなクラブ）
森　菜々・只野和子・横山歩奈

・相馬こどものみんなの家
稲　昌信・鈴木三恵子

かいがぞうけいきょうしつ

- **未就学児**　水野友美子・倉本まり子
- **低学年**　倉本まり子・水野友美子
- **高学年**　門馬浩之・倉本まり子
- **陶芸教室**　倉本まり子・倉本律子
- **特別授業**　倉本信之・倉本郁哉
  門馬美樹・水野友美子
- **アシスタント**　川島千紘・吉田百合子

ギャラリー絵のある部屋

管理者　門馬　美樹
学芸員　倉本まり子

常設していますので
お気軽にご来館下さい

介　護　事　業

施設長　倉本哲哉

管理者　倉本信之・門馬浩之

社会福祉士・生活相談員
倉本正子

社会福祉主事・生活相談員
吉田千賀・倉本まり子

・デイサービス友遊（南）　佐藤栄美子
・デイサービス友遊（北）　藤田まどか

看護師　高玉ヤス・篠山省子・渡部道子

介護士　林光子・前田百合恵・渡辺則子
反畑憂季奈・松本やよい・齋藤美子
榎本標・高橋美和子・大友麻奈美

・訪問介護友遊
サービス提供責任者　橋本祐樹
村上悦子（補）

介護士　黒木昭子・菅野ゆかり・狩野陽子
冨田久美子・永田弘美・井戸川久美子

・居宅介護事業所
ケアマネージャー　新明　智子

・介護タクシー友遊

・イキイキ友遊塾

７月第４日曜日は、親子の日。今年の７月第４日曜日は７月２８日です。

平　成　３１年　度　　ア　ト　リ　エ　ア　ラ　カ　ル　ト

かいがぞうけいきょうしつ・陶芸教室では・・・

かいがぞうけいきょうしつは昭和４１年に開講して今年度５４年目。
１００年物の木のぬくもりのある魅力的な空間のアトリエで
３歳児からデイサービスのおじいちゃん･おばあちゃんが一緒にアートを通して学び､絵を描くだけでなくいろいろな関係性の中で自分を高めていき、楽しみながら成長し合う仲間作りをしてきました。
今年度も、発達段階に応じたカリキュラムに加え、特別授業では東北生活文化大学高校・宮城野高校・テクノアカデミー浜校・他の皆様にご指導いただき、更にアートの楽しさを学びたいと思います。
相馬絵画研究所３０周年を記念して友遊窯を開窯してから２４年目。
昨年度最後３月の２５１回目の窯炊では
プロではないながら、良い焼き上がりに満足しております。
土の塊から想いおもいの器へ・・・いきもののように姿を変える土。
ねる、たたく・・・などのシンプルな作業ですが、癒される時間です。
今年度も多くの皆さんに陶芸の楽しさをお伝えしたいと思っています。

体験活動は・・・４泊５日共同生活体験合宿と糀・味噌作り体験

今年度 626 回目の体験活動として４泊５日共同生活体験合宿と糀･味噌作り体験を、夏休みに予定しております。
子ども達の育ちを考えた時、どうしてもやってあげたい活動です。
日に日に楽しさを見つけ、心身共に健康的に友と過ごす時間。
やる気・やりぬく力を育んでいきます。
友との関係性の中で自分を見つめ、人との繋がり方を体得。
社会性を身につけていく、長時間ならではの合宿の成果が見られます。
どの世代も　**イキイキ　キラキラ　みんないい笑顔**　で過ごせる
居場所作りをデザインしていかなければと思い
新学期の仕事に入りました。

介護事業では・・・

教育問題から始まった福祉の問題も、平成２４年から南飯渕にデイサービス友遊開所に始まり、北町にデイサービス友遊Ⅱ、訪問介護事業所友遊に加え、介護タクシー友遊を開所する事ができました。また、ケアマネージャー・居宅介護事業所を再開。５つの事業所で、利用者様と家族の想いや願いを大切にし、より安心して生活できるリンクされた福祉の場を提供させていただいております。

毎日、南飯渕の畑・長寿の森園で採取した自家製目薬の木茶の朝茶に始まり、午後のティータイムにはできるだけ手作りで懐かしいお味のもの、朝採り野菜や果物も豊富で、おやつの時間の楽しみもいっぱいです。
北町の金曜日は、絵画教室の小さな子ども達との交流の場を設け、一緒に絵を描いたりお話をしたり・・・子供たちの存在は、おじいちゃん、おばあちゃんの視覚に入るだけで、すごいパワーを発揮し、自然と笑みがこぼれ、おじいちゃん、おばあちゃんも童心に返ります。
そして、やんちゃな子供たちも優しくなっていくのです。子どもとお年寄りが同じ空間にいるだけで介護予防になり、子育て支援ができるのですから驚きです。孫のような娘のようなスタッフに見守られ幸せ･･♡
イキイキ　キラキラ　みんないい笑顔　が満開です。

どうぞ、皆様も目薬の木茶を飲みにきてください。

☆ かいがぞうけいきょうしつ 会員募集中 ☆

相馬市委託管理事業では・・・

平成１８年より、**中央児童センター**の管理運営を相馬市から委託され、活動の輪が広がりました。子ども達の豊かな心の育ちのため、相馬絵画研究所で長年培ってきた活動に加え更なる活動の場を提供して１３年になります。

また、**ポニークラブ**に加えて、震災後、サントリーホールデングさんの支援で建てられた第２児童クラブ・**ことりクラブ**も、木の温もりと明るい採光のより良い環境の中で活動しております。
平成２３年から飯豊小放課後児童クラブ・**ひまわりクラブ**、平成２６年から日立木小放課後児童クラブ・**めだかクラブ**、平成２７年から**相馬こどものみんなの家**、平成２９年から磯部小放課後児童クラブ・**げんきクラブ**、そして平成３０年から八幡小放課後児童クラブ・**なのはなクラブ**と６か所の管理運営をさせていただいております。

各クラブでの交流・合同での活動を通して、他地域の人との出会いの中で気配りや思いやりの心がはぐくまれ、それぞれが成長していき、頼もしい姿がみられます。
今年度も、画一的な指導ではなくひとり一人にふさわしいサポートをするため、的確な状況判断をし、子ども達に向き合っていくよう 15 日に全体ミ

「子は親の鏡」

「子どもが育つ魔法の言葉」より
ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨（うらや）んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉（ほ）めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世はいいところだと思えるようになる

この詩を書いたのは、アメリカ出身の教育学者で４０年以上にわたり親子関係の研究をし、家族関係についての授業や講演をされてきたドロシー・ロー・ノルトさん（女性）２００５年に８１歳で亡くなっています。
子どもはいつも親の姿を見ています。ああしなさい。こうしなさいというよりも親のありのままの姿のほうを、子どもはよく覚えています。アトリエで１４日中学生、高校生のアシスタントリーダーさんのミィーテングの折、これを読んでもらい感想を聞くと、そうなんだと納得の言葉。うなずき・・・
親たる私たちも、もう一度振り返ってみなければ・・・と思い掲載します。

第２２回「みんな集まれ、こいのぼりの下へ」

日　時：５月６日（月）　午前９：20～
場　所：川沼西公園（相馬市中央児童センター南側）

※ 雨天時の会場は中央児童センターです。
（一部のイベントは中止になります。）
こいのぼり掲揚期間４月２０日～５月６日